

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第42期第2四半期  
(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社デイトナ

**【英訳名】** DAYTONA CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 鈴木紳一郎

**【本店の所在の場所】** 静岡県周智郡森町一宮4805番地

**【電話番号】** 0538(84)2200

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 中嶋哲司

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県周智郡森町一宮4805番地

**【電話番号】** 0538(84)2200

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 中嶋哲司

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第41期 第2四半期 連結累計期間	第42期 第2四半期 連結累計期間	第41期
会計期間		自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(千円)	2,893,377	2,895,016	5,879,474
経常利益	(千円)	119,866	172,038	257,863
四半期(当期)純利益	(千円)	140,933	104,359	285,459
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	147,803	99,382	307,982
純資産額	(千円)	1,938,486	2,171,962	2,098,665
総資産額	(千円)	4,996,918	5,079,732	4,881,517
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	67.02	49.58	135.69
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	66.59	49.27	134.77
自己資本比率	(%)	37.6	41.4	41.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	755	16,977	367,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	93,549	88,216	190,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	114,291	33,395	117,216
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	274,667	245,796	315,592

回次		第41期 第2四半期 連結会計期間	第42期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	50.38	51.32

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の積極的な経済政策、金融政策等により、円安、株高が進行し、自動車など輸出企業を中心とした企業業績の回復感が見られ、また、百貨店などで高額品が売れるなど、消費マインドの改善も見られる状況となりました。

二輪車業界においても、軽二輪車、自動二輪車の販売台数の増加など明るさが見られました。アフターパーツ業界も、マフラーなど的高額品の購入を即決する方や、発表時に予約申し込みをされる方が増えるなど、景気の回復感を実感する場面も一部には出てきております。

当社グループにおいても、国内卸売事業の販売は引き続き好調に推移しましたが、小売事業については、前年7月の1店舗閉鎖などの影響により売上高が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は28億95百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は1億64百万円（前年同四半期比28.7%増）、経常利益は1億72百万円（前年同四半期比43.5%増）、四半期純利益は1億4百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

#### [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、ツーリング用品や、インターネット通販業者向けの販売が引き続き好調に推移した結果、売上高は18億11百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は1億90百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。また、当期は年初より円安による仕入れコストの増大が利益を大きく圧迫することを懸念しておりましたが、為替予約の実施、一部商品の国内生産への切替などにより、当第2四半期連結累計期間においては、利益面で想定を大きく上回る結果となりました。

#### [アジア拠点卸売事業]

バイクメーカー及び現地卸商からの受注が引き続き順調であったため、売上高96百万円（前年同四半期比77.6%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

#### [小売事業]

小売事業においては、インターネット通販などによるお客様の購入方法の変化など、厳しい状況が続いておりますが、接客品質の向上や中古部品の販売、自転車の販売などの多角化による収益向上を推進しております。また前年7月に千葉湾岸店を閉鎖したため、前期の4店舗体制から3店舗体制へと変わっております。このような状況の中、売上高は、10億32百万円（前年同四半期比16.3%減）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

#### [その他]

本社屋上に設置し、昨年11月末から稼動している300kWの太陽光発電事業システムは、日照も順調で、売上高は8百万円、セグメント利益は1百万円となりました。なお、現在本社敷地内に550kWの太陽光発電システムの増設を進めておりますが、太陽光パネルの納入までの期間が大変長くなっていることもあり、来年1月末からの稼動を予定しております。

## ( 2 ) 財政状態の分析

### ( 流動資産 )

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6.8%増加し、25億70百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億29百万円、たな卸資産が29百万円増加したことなどによります。

### ( 固定資産 )

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、25億8百万円となりました。これは、有形固定資産が35百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加し、50億79百万円となりました。

### ( 流動負債 )

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7.1%増加し、15億97百万円となりました。これは、短期借入金が1億24百万円増加したことなどによります。

### ( 固定負債 )

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、13億10百万円となりました。これは、長期借入金が増加しましたが、社債が68百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加し、29億7百万円となりました。

### ( 純資産 )

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、21億71百万円となりました。

## ( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少の2億45百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### ( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

税金等調整前当期純利益が1億72百万円、売上債権の増加による支出が1億28百万円、貸倒引当金の減少による支出が63百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における営業活動より使用された資金は16百万円(前年同四半期連結累計期間に使用された資金は0.7百万円)となりました。

### ( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

有形固定資産の取得による支出が83百万円、差入保証金の差入れによる支出が1百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動より使用された資金は88百万円(前年同四半期連結累計期間に使用された資金は93百万円)となりました。

### ( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

短期借入金の増加による収入が1億18百万円、長期借入による収入が2億50百万円ありましたが、長期借入金の返済による支出が2億33百万円、社債の償還による支出が68百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動より得られた資金は33百万円(前年同四半期連結累計期間に得られた資金は1億14百万円)となりました。

( 4 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 5 ) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費の総額は13,619千円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,864,000
計	13,864,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,602,600	3,602,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であり ます。
計	3,602,600	3,602,600		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		3,602		412,454		340,117

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年6月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
阿部久夫	静岡県磐田市	631	17.52
有限会社エービーイー	静岡県磐田市富士見台6-5	238	6.61
株式会社コシダテック	東京都港区東新橋2丁目2-9	136	3.77
今岡克之	東京都杉並区	125	3.48
今岡洋子	東京都杉並区	58	1.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	28	0.79
株式会社ジェイ・ティ・シー	東京都港区西新橋2-6-2	26	0.72
デイトナ社員持株会	静岡県周智郡森町一宮4805	24	0.66
阿部悦子	静岡県磐田市	20	0.55
スルガ銀行株式会社	静岡県沼津市通横町23	20	0.55
計		1,308	36.31

(注) 当社は自己株式 1,497,972株 (41.58%) を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,497,900		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,104,200	21,042	同上
単元未満株式	普通株式 500		同上
発行済株式総数	3,602,600		
総株主の議決権		21,042	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式72株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社デイトナ	静岡県周智郡森町一宮4805	1,497,900		1,497,900	41.58
計		1,497,900		1,497,900	41.58

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	436,637	370,149
受取手形及び売掛金	341,030	471,026
たな卸資産	2 1,484,877	2 1,514,158
その他	154,418	225,520
貸倒引当金	9,340	9,946
流動資産合計	2,407,622	2,570,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	750,039	771,850
土地	1,483,344	1,484,289
その他(純額)	161,821	174,729
有形固定資産合計	2,395,205	2,430,869
無形固定資産	29,744	26,435
投資その他の資産		
その他	113,546	52,325
貸倒引当金	64,601	805
投資その他の資産合計	48,944	51,520
固定資産合計	2,473,894	2,508,824
資産合計	4,881,517	5,079,732
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,047	266,180
短期借入金	858,674	899,251
賞与引当金	16,096	18,300
未払法人税等	47,150	88,132
その他	328,508	325,666
流動負債合計	1,491,478	1,597,531
固定負債		
社債	432,320	363,480
長期借入金	771,204	870,803
退職給付引当金	685	847
その他	87,163	75,108
固定負債合計	1,291,373	1,310,238
負債合計	2,782,851	2,907,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,454	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,029,515	2,107,567
自己株式	747,130	747,130
株主資本合計	2,036,021	2,114,073
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,533	13,356
その他の包括利益累計額合計	14,533	13,356
少数株主持分	77,177	71,245
純資産合計	2,098,665	2,171,962
負債純資産合計	4,881,517	5,079,732

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,893,377	2,895,016
売上原価	1,793,612	1,821,102
売上総利益	1,099,765	1,073,914
販売費及び一般管理費	971,894	909,393
営業利益	127,871	164,521
営業外収益		
受取手数料	4,915	5,065
為替差益	-	10,683
その他	5,747	7,379
営業外収益合計	10,662	23,127
営業外費用		
支払利息	11,754	10,220
その他	6,912	5,390
営業外費用合計	18,667	15,610
経常利益	119,866	172,038
特別利益		
固定資産売却益	735	244
店舗移転補償金	66,263	-
負ののれん発生益	30,981	-
特別利益合計	97,980	244
特別損失		
固定資産除却損	540	-
特別損失合計	540	-
税金等調整前四半期純利益	217,306	172,282
法人税、住民税及び事業税	70,859	86,359
法人税等調整額	1,416	12,198
法人税等合計	69,443	74,161
少数株主損益調整前四半期純利益	147,862	98,121
少数株主利益又は少数株主損失( )	6,929	6,237
四半期純利益	140,933	104,359

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	147,862	98,121
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	59	1,260
その他の包括利益合計	59	1,260
四半期包括利益	147,803	99,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,874	105,614
少数株主に係る四半期包括利益	6,928	6,232

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	217,306	172,282
減価償却費	50,019	53,368
負ののれん発生益	30,981	-
店舗移転補償金	66,263	-
支払利息	11,754	10,220
受取利息及び受取配当金	43	46
売上債権の増減額（は増加）	116,507	128,589
たな卸資産の増減額（は増加）	97,090	28,399
仕入債務の増減額（は減少）	35,289	24,228
未払消費税等の増減額（は減少）	13,703	3,410
貸倒引当金の増減額（は減少）	227	63,191
その他	2,368	3,643
小計	12,815	39,639
利息及び配当金の受取額	40	38
利息の支払額	12,444	10,857
店舗移転補償金の受取額	90,141	-
法人税等の支払額	65,678	45,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	755	16,977
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	13,900	13,900
定期預金の預入による支出	16,205	17,207
関係会社株式の取得による支出	21,750	-
有形固定資産の取得による支出	66,456	83,390
有形固定資産の売却による収入	766	284
無形固定資産の取得による支出	1,107	348
差入保証金の回収による収入	9,183	362
差入保証金の差入による支出	11,879	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,549	88,216
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	329,570	118,304
長期借入れによる収入	-	250,000
長期借入金の返済による支出	115,820	233,966
リース債務の返済による支出	8,599	5,814
社債の償還による支出	68,840	68,840
配当金の支払額	22,023	26,288
その他	3	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,291	33,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	347	2,002
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	19,638	69,795
現金及び現金同等物の期首残高	255,028	315,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	274,667	245,796

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年12月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
1 輸出取立手形割引高	23,724千円	1 輸出取立手形割引高	58,043千円
受取手形裏書譲渡高	30,409千円	受取手形裏書譲渡高	32,162千円
2 たな卸資産		2 たな卸資産	
商品	1,481,620千円	商品	1,511,260千円
貯蔵品	3,256千円	貯蔵品	2,897千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)		
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。		
荷造運搬費	72,538千円	荷造運搬費	78,788千円
広告宣伝費	76,517千円	広告宣伝費	62,229千円
給料	318,697千円	給料	302,933千円
賞与引当金繰入額	17,263千円	賞与引当金繰入額	17,585千円
減価償却費	49,476千円	減価償却費	46,264千円
賃借料	60,937千円	賃借料	42,112千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)		
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年6月30日現在)		
現金及び預金	380,008千円	現金及び預金	370,149千円
預入期間が3か月超の定期預金	105,341千円	預入期間が3か月超の定期預金	124,352千円
現金及び現金同等物	274,667千円	現金及び現金同等物	245,796千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月27日 定時株主総会	普通株式	22,058	10.50	平成23年12月31日	平成24年3月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月26日 定時株主総会	普通株式	26,307	12.50	平成24年12月31日	平成25年3月27日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,619,254	40,660	1,233,462	2,893,377		2,893,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,155	13,573	16	69,744	69,744	
計	1,675,409	54,234	1,233,479	2,963,122	69,744	2,893,377
セグメント利益又は損失 ( )	166,257	9,396	28,070	128,790	919	127,871

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 919千円は、セグメント間取引消去869千円、たな卸資産の調整額2,350千円、固定資産の調整額561千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,768,801	86,086	1,031,876	2,886,765	8,251	2,895,016		2,895,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,752	10,214	130	53,096		53,096	53,096	
計	1,811,554	96,301	1,032,006	2,939,862	8,251	2,948,113	53,096	2,895,016
セグメント利益又は損失 ( )	190,534	1,255	35,131	156,657	1,508	158,165	6,355	164,521

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額6,355千円は、セグメント間取引消去2,014千円、たな卸資産の調整額3,887千円、固定資産の調整額452千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	67円 02銭	49円 58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	140,933	104,359
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	140,933	104,359
普通株式の期中平均株式数(株)	2,102,812	2,104,628
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	66円 59銭	49円 27銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)	13,373	13,377
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

株式会社デイトナ  
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 林 寛尚 印

業務執行社員 公認会計士 八代 英明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社デイトナの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社デイトナ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。